

# 出張医学教育FD(長野赤十字病院)

【日 時】平成27年6月10日(水) 18:00-18:30

【場 所】長野赤十字病院

【参加人数】73名

【内 容】

## ○信州大学の新しい臨床実習

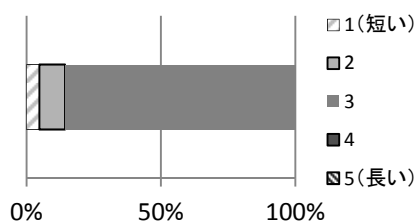
- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について
- ・臨床実習の指導医

## ○学生の評価について

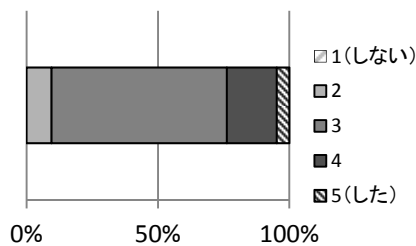
- ・ポートフォリオについて



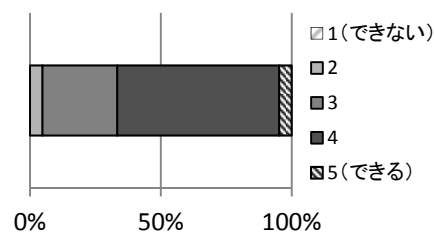
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



## 参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
学生に自由な時間を与えること。	よくわからない。	本来、大学で終わらせなければならない教育実習だと思います。それを市中病院に遣らせることに対する大学のコメントをいただきたい。
中間評価をするようになる。簡単なタスクを与え、自主的に調べさせる。	学習レポート、テーマについておよびその指導方法。	国試の問題については専門的過ぎる内容是不適切問題だと思ふものがあります。大学から、「これは不適切である」とうことを作成者に訴えることはできないのでしょうか。
よくわからない。	カルテを書かせること→終了したら捨ててよいとのことですが、それだけのためにカルテを書かせるでしょうか。	
中間レポートについて。(複数意見あり)	この臨床実習のシステムは全国的な者でしょうか。	
学生に自由時間を与えて自ら考えさせる。実習評価方法について。	学生にやらせてよいこと。	例としてですが、CVカテーテルの挿入法は30分や1時間では学生には予習不可能だとおもいます。もっとかかります。
学生が来ることはわかりました。送り出す大学の先生方もご苦労されていることはわかりました。		
レポートについて。		中間報告、指示をまたお願いします。
適切な評価を行う。紙カルテ→シュレッダー		
学生の評価法。		
学生に紙カルテを記載させて指導後に破棄する。		